

「国土交通省公共事業コスト構造改革プログラム」

【施策名：（２）計画・設計から管理までの各段階における最適化 【１】計画・設計の見直し】

のり面保護工法の見直しによるコスト縮減

工事名：滝ノ沢下流地区法面对策工事

概要：（従来）

布製型枠（剛体）による保護

⇒ （新）

浸食コントロールマットによる保護

効果 ○施工単価の減少によるコスト縮減。

○植生の繁茂が期待できることから環境への負荷を軽減。

■ 工事費を215百万円から78百万円に縮減。

（縮減額 137百万円、縮減率 約64%）

従来工法



従来は侵食防止工として比較的簡易な布製型枠（ファブリフォーム（剛体））を使用。

縮減工法



近年開発され使用実績がある侵食コントロールマット（地山の不陸に追随性のある材料）を使用。